

令和5年度 第5回 南城市地域公共交通会議資料

南城市地域公共交通再編実施計画の 見直し（案）について

令和6年1月

南 城 市

1 見直し内容

1.1 見直し概要

- N バスは、市立玉城幼稚園の私立こども園移行時の経過措置を取りやめます。具体的には、F2 系統と D1 系統（2 便目）、F3 系統のこども園への乗り入れを廃止し、F3 系統については、系統を廃止し、D2 系統の 1 便目に移行します。
- おでかけなんじいは、朝、夕の利用状況を踏まえ、運転手の拘束時間や休息時間の確保等を行うため、運行時間の見直しを行います。平日は、9 時台～17 時台の運行に、土曜日、日祝日は 9 時台～15 時台の運行とします。
- N バスの運行見直しは、令和 6 年 4 月から、おでかけなんじいの運行見直しは令和 6 年 10 月から実施します。

表 1.2024 年 4 月及び 10 月の主な見直し内容

区分		系統	見直し内容	見直し時期
支線バス (Nバス)		F2	こども園乗り入れを廃止	2024 年 (R6) 4 月 1 日
		D1	2 便目の乗り入れを廃止	
		F3	廃止	
		D2	1 便増便 (F3 系統から移行)	
幹線バス (路線バス)	国道 331 号 (佐敷・知念方面)	見直しなし		—
	県道 48 号線・86 号線 (大里・玉城方面)	見直しなし		
	国道 331 号・県道 17 号線 (玉城方面)	見直しなし		
	県道 77 号線 (大里方面)	見直しなし		
おでかけなんじい		運行時間の見直し 平日：8～19 時台 →9～17 時台 土曜日・日祝日：8～19 時台 →9～15 時台		2024 年 (R6) 10 月 1 日

1.2 支線バスの見直し

(1) 運行の概要

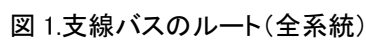
●見直し対象の D1、D2、F2、F3 系統については、以下のように見直します。

表 2. 支線バス(市内線)各コースの概要

路線名	運行 台数	運行 事業者	ルート	想定している利用形態・立ち寄り先
D1：玉城東回り線	1 台	沖縄 バス	玉城東地域をまわる通勤・ 登校のための路線	●登校（百名小、玉城小、玉城中、玉城 こども園）※2024.4 に玉城こども 園への乗り入れ廃止
D2：玉城東回り線 （向陽高校経 由）			玉城地域、向陽高校の下校 のための路線	●下校（向陽高校、百名小、玉城小、玉 城中）※2024.4 に 1 便増便
F1：玉城西回り線	1 台	沖縄 バス	主に玉城地区をまわるルー ト 市役所～喜良原～糸数～前 川～湧稲国～船越～糸数～ 市役所	●登校（船越小、玉城小、玉城中）
F2：玉城西回り線 （玉城こども 園経由）	1 台	沖縄 バス	主に玉城地区をまわるルー ト 喜良原～糸数～前川～湧稲 国～船越～糸数～玉城こど も園～喜良原～市役所	●登校（玉城こども園、船越小、玉城小、 玉城中）※2024.4 に玉城こども園 への乗り入れ廃止
F3：玉城一周線（玉 泉洞経由）	1 台	沖縄 バス	玉城地区をまわるルート 市役所～親慶原～玉幼～糸 数～船越～湧稲国～前川～ 堀川～志堅原～富里～中山 ～百名～つきしろの街入口 ～市役所	●下校（玉城こども園）※2024.4 に 廃止
G：向陽高校線（大 里経由）	1 台	沖縄 バス	大里地区、玉城地区をまわ るルート 市役所～真境名～嶺井団地 入口～福原～仲程～稲嶺十 字路～湧稲国～船越～玉泉 洞前～向陽高校入口	●登校（向陽高校）

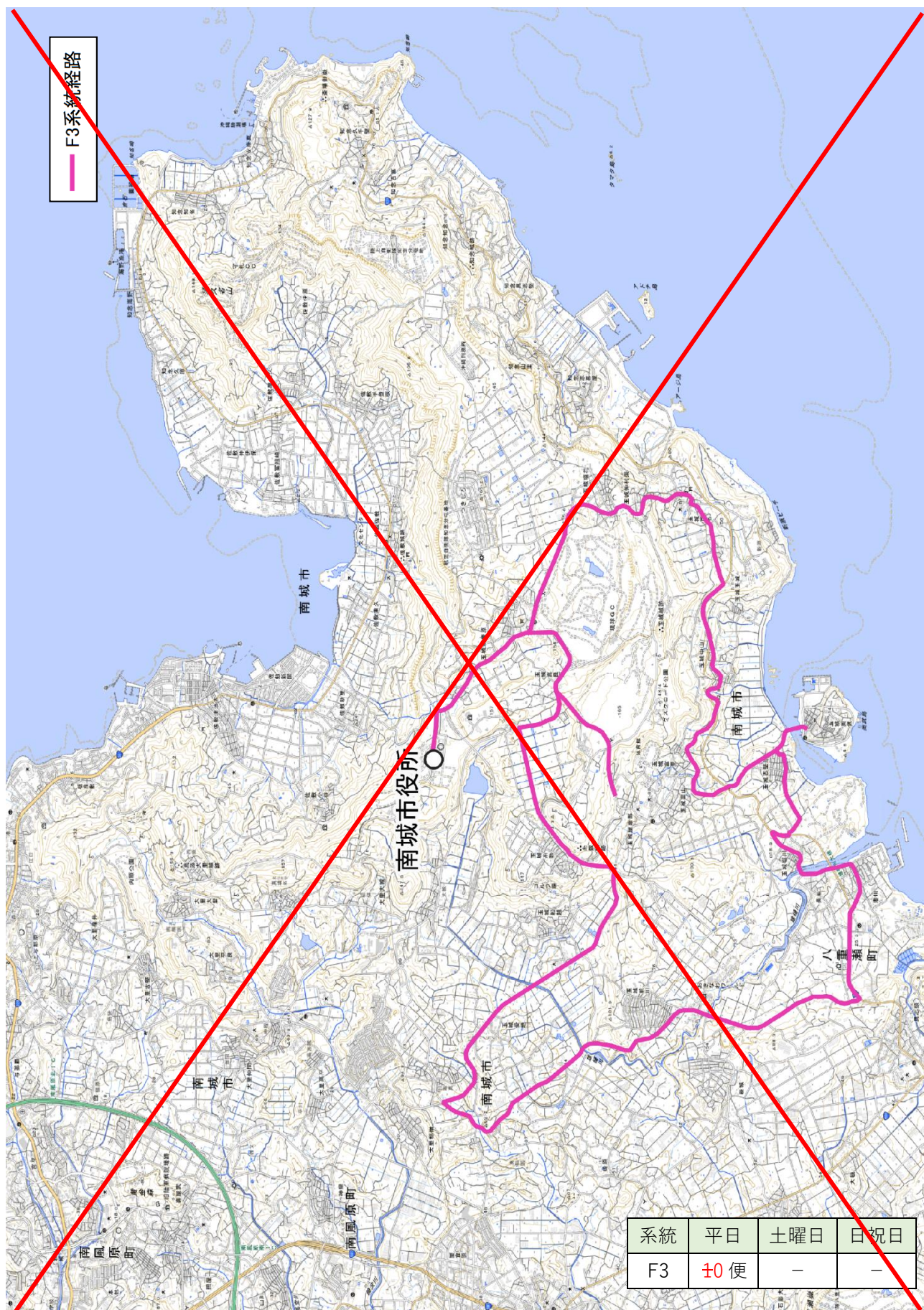
※各路線とも、市役所バス停に接続しており、幹線バスに乗り継ぎ、市外への通勤・通学や、市外からの帰宅に利用できる。

●ルート図は以下のように見直します。





系統	平日	土曜日	日祝日
D2	便	—	—



系統	平日	土曜日	日祝日
F3	±0 便	—	—

1.3 デマンド交通の見直し

- デマンド交通は、運行時間を、平日、土曜日、日祝日ともに短縮します。

表 3. おでかけなんじいの運行計画

項目	内容	
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域	
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）	
利用運賃	一人一律、1 回 500 円（未就学児は無料） ただし、75 歳以上の市民は 200 円	
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド）	
運行曜日	平日・休日(土日祝) の毎日 ※12/31～1/3 は除く	
運行時間帯	現行：2018.10～2019.9 (H30.10～R1.9)	再編後：2019.10～2020.9 (R1.10～ R2.9 R6.9)
	●8～20 時（8 時台～19 時台の 1 時間ごとに運行） ●平日 9 時台～18 時台、土曜日の 11～16 時台は 3 台/時運行 ●その他の時間帯は 2 台/時運行	●8～20 時（8 時台～19 時台の 1 時間ごとに運行） ●平日 9 時台～18 時台、土曜日の 11～15 時台は 3 台/時運行 ※2020.10 より土曜日は常時 2 台 ●その他の時間帯は 2 台/時運行
		再編後：2024.10～ (R6.10～)
		●平日は 9 時台～17 時台で 3 台/時運行 ●土曜日、日祝日は 9 時台～15 時台で 2 台/時運行
運行車両台数	最大 3 台(10 人乗り車両、2019.12.1 (R1.12.1) より 5 人乗り車両)	
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の 30 分前までに電話にて予約。ただし、 8 9 時台は前日までの予約が必要。	
運営体制	運行業務及びオペレート業務は、地方自治法に基づく随意契約で選定。	

表 4. おでけなんじいの運行台数

曜日	時期	時間帯											
		8 時	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	17 時	18 時	19 時
平日	再編前	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	2019.10～	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	2024.10～	—	3	3	3	3	3	3	3	3	3	—	—
土曜日	再編前	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2
	2020.10～	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2024.10～	—	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—
日祝日	再編前	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2019.10～	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2024.10～	—	2	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—

2 収支の見直し

2.1 再編事業の事業費

(1) 支線バス

●支線バスの事業費は、D2 系統での増便はありますが、F3 系統の廃止により、事業費が 96,000 千円/年から、95,800 千円/年へと 200 千円/年減少します。

表 5.2024 年 4 月見直し時の支線バスの事業費

系統番号	運行主体	運行区間	事業費 (千円)
A-1/A-2 知念・佐敷一周線	沖縄バス	市役所～馬天～佐敷～安座真～志喜屋～百名～親慶原～市役所	33,000 /33,000
A-3 知念・佐敷一周線（つきしろ経由）	沖縄バス	東つきしろ～馬天小前～佐敷小前～知念小前～市役所	0 /0
B-1/B-2 ニライカナイ橋・つきしろ線	沖縄バス	市役所～親慶原～安座真～佐敷～馬天～市役所	26,700 /26,700
C-1/C-2 玉城・大里一周線	沖縄バス	市役所～親慶原～百名～奥武～船越～稲嶺～仲程～大城～市役所	28,300 /28,300
D-1 玉城東回り線	沖縄バス	玉城東地域を回る通勤・通学ルート	1,800 /1,800
D-2 玉城東回り線（向陽高校経由）	沖縄バス	玉城地域及び向陽高校下校時のルート	3,100 /3,900
E 知念南回り線	沖縄バス	市役所～つきしろの街～志喜屋～百名～市役所	0 /0
F-1 玉城西回り線	沖縄バス	市役所～系数～前川～湧稲国～船越～市役所	700 /700
F-2 玉城西回り線（玉城幼稚園経由）	沖縄バス	喜良原～系数～前川～船越～玉城幼稚園～市役所	600 /600
F-3 玉城一周線（玉泉洞経由）	沖縄バス	市役所～玉幼～愛地～堀川～百名～親慶原～市役所	1,000 /0
G 向陽高校線（大里経由）	沖縄バス	市役所～嶺井～仲程～湧稲国～船越～向陽高校入口	800 /800
H 知念高校線（大里経由）	沖縄バス	市役所～知念高校～仲程～湧稲国～系数～市役所	0 /0
小計			96,000 /95,800

※上段が 2024 年 1 月、下段が 2024 年 4 月

支線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに燃料費を乗じ、人件費及び車両費は各系統で共有しているため、全体の費用を年間の走行キロで按分して路線毎に割り当てて算出しています。

(2) 幹線バス・デマンド交通

- 幹線バスは見直しがいないため、事業費の変動はありません。
- デマンド交通は、運行時間帯の削減により、事業費は 44,300 千円/年から 32,900 千円/年へと 11,400 千円/年減少します。
- 全体の事業費は、2024 年 1 月の 223,200 千円/年から、2024 年 10 月では 211,600 千円/年へと 11,600 千円/年減少します。

表 5.2024 年 10 月見直し時の幹線バス・デマンド交通・全体の事業費

区分	系統番号	運行主体	運行区間	車両	運転手	事業費 (千円)
幹線バス	37 番系統	東陽バス	那覇 BT～馬天入口～新里～馬天営業所・南城市役所	13	23	8,100 /8,100
	38 番系統	東陽バス	那覇 BT～馬天入口～志喜屋			3,500 /3,500
	338 番系統	東陽バス	那覇 BT～馬天入口～斎場御嶽入口			4,800 /4,800
	39 番系統	沖縄バス	那覇 BT～馬天入口～南城市役所	5	9	6,800 /5,300
	339 番系統	沖縄バス	結の街～那覇 BT～南城市役所			3,900 /3,900
	40 番系統	沖縄バス	那覇 BT～大城・南城市役所	4	8	12,000 /12,000
	309 番系統	沖縄バス	結の街～那覇 BT～大城・南城市役所			13,100 /13,100
	51 番系統	琉球バス	那覇 BT～稲嶺十字路～玉城中学校前～百名 BT	13	20	14,500 /14,500
	50 番系統	琉球バス	那覇 BT～向陽高校～中山～百名 BT・南城市役所			11,200 /11,200
	36 番系統	沖縄バス	糸満 BT～仲程～馬天入口～南城市役所			5,000 /5,000
	小計			35	60	82,900 /82,900
デマンド交通	おでかけなんじい	鏡原第一交通	久高島を除く南城市内全域	3	6	44,300 /32,900
計				44	77	223,200 /211,600

※上段が 2024 年 1 月、下段が 2024 年 10 月

幹線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに走行キロあたり運行経費を乗じて算出しています。

2.2 再編事業の収入見込み

- 2024 年 10 月の見直して、おでかけなんじいの運行時間の短縮により、利用者数が減少することで、全体の収入は、205,800 千円/年から 205,100 千円/年へと 700 千円/年減少を見込んでいます。

表 7.再編事業の収入見込み

区分	収入見込み（千円/年）		増減	備考
	2024.1	2023.10		
支線バス	42,300	42,300	—	
幹線バス	158,200	158,200	—	
デマンド交通	5,300	4,600	▲700	運行時間短縮による利用減
計	205,800	205,100	▲700	

2.3 収支の見込み

（1）支線バス

- 支線バスの収支は、支出が減少することで、赤字額が 2024 年 1 月の 53,700 千円/年から 2024 年 4 月は 53,500 千円/年への改善が見込まれます

表 7.支線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2024.1	2024.4	増減	2024.1	2024.4	増減	2024.1	2024.4	増減
A1: 佐敷・知念・百名線									
A2: 百名・知念・佐敷線	19,300	19,300	0	32,900	32,900	0	▲ 13,600	▲ 13,600	0
B1: 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線									
B2: つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	7,200	7,200	0	26,300	26,300	0	▲ 19,100	▲ 19,100	0
B3: つきしろ線	200	200	0	600	600	0	▲ 400	▲ 400	0
C1: 玉城・大里線									
C2: 大里・玉城線	12,100	12,100	0	28,200	28,200	0	▲ 16,100	▲ 16,100	0
D1: 玉城東回り線	900	900	0	1,800	1,800	0	▲ 900	▲ 900	0
D2: 玉城東回り線(向陽高校経由)	1,700	2,100	400	3,100	3,900	800	▲ 1,400	▲ 1,800	▲ 400
F1: 玉城西回り線	200	200	0	700	700	0	▲ 500	▲ 500	0
F2: 玉城西回り線(玉城こども園経由)	200	200	0	600	600	0	▲ 400	▲ 400	0
F3: 玉城一周線(玉泉洞経由)	400	0	▲ 400	1,000	0	▲ 1,000	▲ 600	0	600
G: 向陽高校線(大里経由)	100	100	0	800	800	0	▲ 700	▲ 700	0
計	42,300	42,300	0	96,000	95,800	▲ 200	▲ 53,700	▲ 53,500	200

(2) 幹線バス

●幹線バスは、見直しがないため、収支に変化はなく、75,300 千円/年の黒字のままです。

表 9.幹線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2024.1	2024.4	増減	2024.1	2024.4	増減	2024.1	2024.4	増減
37番系統	13,800	13,800	0	8,100	8,100	0	5,700	5,700	0
38番系統	22,500	22,500	0	3,500	3,500	0	19,000	19,000	0
338番系統	26,800	26,800	0	4,800	4,800	0	22,000	22,000	0
39番系統	30,000	30,000	0	6,800	6,800	0	23,200	23,200	0
339番系統	5,000	5,000	0	3,900	3,900	0	1,100	1,100	0
40番系統	13,500	13,500	0	12,000	12,000	0	1,500	1,500	0
309番系統	9,000	9,000	0	13,100	13,100	0	▲ 4,100	▲ 4,100	0
51番系統	13,000	13,000	0	14,500	14,500	0	▲ 1,500	▲ 1,500	0
50番系統	23,900	23,900	0	11,200	11,200	0	12,700	12,700	0
36番系統	700	700	0	5,000	5,000	0	▲ 4,300	▲ 4,300	0
琉球バス交通	36,900	36,900	0	25,700	25,700	0	11,200	11,200	0
沖縄バス	58,200	58,200	0	40,800	40,800	0	17,400	17,400	0
東陽バス	63,100	63,100	0	16,400	16,400	0	46,700	46,700	0
計	158,200	158,200	0	82,900	82,900	0	75,300	75,300	0

(3) デマンド交通

●デマンド交通の収支は、収入、支出ともに減少しますが、支出の減少幅が大きいことから、赤字額が 39,000 千円/年から、28,300 千円/年へと 10,700 千円/年改善されます。

表 10.デマンド交通の収支見込み

区分	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)
2024.1再編	5,300	44,300	▲ 39,000
2024.10再編	4,600	32,900	▲ 28,300

(4) 収支のまとめ

- 2024 年 1 月の収支は、全体で 17,400 千円/年の赤字に対し、2024 年 10 月は、6,500 千円/年と、赤字幅が 10,900 千円/年と大きく削減される見込みです。

表 11.2024 年 10 月再編の収支見込みのまとめ

	収入			支出			収支		
	2024.1	2024.10	増減	2024.1	2024.10	増減	2024.1	2024.10	増減
支線バス	42,300	42,300	0	96,000	95,800	▲ 200	▲ 53,700	▲ 53,500	200
幹線バス	158,200	158,200	0	82,900	82,900	0	75,300	75,300	0
デマンド交通	5,300	4,600	▲ 700	44,300	32,900	▲ 11,400	▲ 39,000	▲ 28,300	10,700
計	205,800	205,100	▲ 700	223,200	211,600	▲ 11,600	▲ 17,400	▲ 6,500	10,900

2.4 2024 年 10 月再編の評価のまとめ

- 2024 年 10 月の再編により、支線バスの延長が短くなることで、総走行台キロは、2024 年 1 月の 103 万 3 千 km/年から、103 万 1 千 km/年へと 2 千 km 減少します。

表 12.2024 年 10 月再編での総走行台キロの変化

	台キロ		
	2024年1月	2024年10月	増減
支線バス	661,000	659,000	▲ 2,000
幹線バス	372,000	372,000	0
計	1,033,000	1,031,000	▲ 2,000